

2013年度 水球男女日本代表選手選考要項（改訂）

公益財団法人日本水泳連盟水球委員会

◆2013年度水球男女日本代表選手派遣国際試合

1. 2013年水球ワールドリーグ・アジア大洋州ラウンド（ニュージーランド）
2. 2013年水球ワールドリーグ・スーパーファイナル（未定）
3. 2013年ユニバーシアード大会（ロシア/カザン）

◆2013年度日本代表水泳選手団編成方針

1. 日本代表水泳選手団は、礼儀と規律を遵守し、活力ある日本水泳界を代表するにふさわしく、かつ参加各国との友好と親善に寄与できる選手・役員をもって編成する。
2. 選手は、日本水泳界の期待に応え得る競技力を持つ者のなかから選考し、入賞及びメダル獲得を目指すチーム編成とする。
3. 選手は、代表監督による「日本代表が目指す強化方針」を忠実に実行しなくてはならない。
4. 2013年度男女ユニバーシアード代表選手は選手育成の観点から大学生を中心に編成する。

◆2013年度選手選考対象国際・国内試合

- （ア）2012年ワールドリーグ・アジア大洋州ラウンド
- （イ）2012年アジア選手権大会
- （ウ）2012年関東学生リーグ戦
- （エ）2012年日本学生選手権
- （オ）2012年日本選手権および全国女子水球競技会

※上記各大会終了時に候補選手を見直し、必要に応じて選手の入替えを行う。

◆2013年度選手選考対象合宿

- （ア）2012年度日中合同合宿（現在、2013年3月で調整中）
- （イ）2012年度内国内強化練習

◆2013年度日本代表選手候補トライアル

公募による書類審査を通過した、所属監督推薦選手

体力測定：2013年4月13日（土）14時～18時（予定）

選考試合：2013年4月14日（日）9時30分～男子選考試合 10時45分～女子選考試合

選考：選考は、日本水泳連盟水球委員会があたり、編成方針に沿って総合的な判断により、2012年度日本代表選手候補選手、ユニバーシアード代表候補選手及び2013年度日本代表選手候補トライアルに参加した選手より、男女「2013年度スクワッド代表候補選手」を選出する。（ジュニア及びユースについては別途方法による選考をする）

◇連盟選手選考委員会

期日：2013年4月2日

◎2013年ワールドリーグ・アジア大洋州ラウンド（豪州・ニュージーランド5/9～13）「2013年度スクワッド代表候補選手」より、水球委員会がワールドリーグ・アジア大洋州ラウンド代表男女各15名を推薦し、（公財）日本水泳連盟選手選考委員会における審議を経て決定する。

期日：2013年5月14日

◎2013年ワールドリーグ・スーパーファイナル（男子：6/11～16・女子：6/3～8）「2013年度スクワッド代表候補選手」より、水球委員会がワールドリーグ・スーパーファイナル代表男女各15名を推薦し、（公財）日本水泳連盟選手選考委員会における審議を経て決定する。

期日：2013年4月2日

◎2013年ユニバーシアード大会（ロシア・カザン 7/6～17）「2013年度ユニバーシアード代表候補選手」より、水球委員会がユニバーシアード大会代表男子13名を推薦し、（公財）日本水泳連盟選手選考委員会における審議を経て決定される。

※ 2014年度日本代表選手選考については本年度同様に、2013年度日本代表が参加した国際大会及び（公財）日本水泳連盟主要競技要項記載の各大会を中心に行うものとし詳細は別途発表する。

◆2013年度水球ジュニア（Age93）男子日本代表選手選考方法

1. 男子世界ジュニア選手権の日本代表選手を下記の手順にて選考する。
2. 選考は公益財団法人日本水泳連盟水球委員会があたり、編成方針に沿って総合的な判断により選考する。

3. 選考競技会は2012・13年度各全国大会（全国J0、インターハイ、国民体育大会、インカレ、日本選手権等）及び2012年度東日本リーグ、2013年各学生リーグとする。
4. 選考有資格者は1993年1月1日以降出生の男女とする（※主に2013年度大学2年生以下の学年＝2013年FINA世界ジュニア選手権対象カテゴリー）。
5. 編成人数は男女各13名とする。

◇連盟選手選考委員会

期日：2013年7月2日

◎2013年男子世界ジュニア選手権大会(ハンガリー・ソンバトヘイ 8/12～18)

2103年度代表選手選考方法により、水球委員会が世界ジュニア選手権男子13名を推薦し、(公財)日本水泳連盟選手選考委員会における審議を経て決定される。

◆2013年度水球ユース (Age96) 男女日本代表選手選考方法

1. 男女アジアAG選手権の日本代表選手を下記の手順にて選考する。
2. 選考は公益財団法人日本水泳連盟水球委員会あたり、編成方針に沿って総合的な判断により選考する。
3. 選考競技会は2012・13年度各全国大会（全国J0、インターハイ、国民体育大会、全日本ユース、全国女子等）及び2013年度東・西日本リーグ女子とする。
4. 選考有資格者は1996年1月1日以降出生の男女とする（※主に2013年度高校2年生以下の学年＝2014年FINA世界ジュニア(U18)選手権対象カテゴリー）。
5. 編成人数は男女各13名とする

◇連盟選手選考委員会

期日：2013年7月2日

◎2013年アジアAG選手権大会(インド・ムンバイ 期間未定)

2103年度代表選手選考方法により、水球委員会がアジアAG選手権男女13名を推薦し、(公財)日本水泳連盟選手選考委員会における審議を経て決定される。

◆2013年度水球カデット (Age98) 男女強化研修選手選考方法

1. 選考は公益財団法人日本水泳連盟水球委員会あたり、編成方針に沿って総合的な判断により選考する。
2. 選考競技会は2013年度各全国大会（全国JO・2012年全日本ユース）とする。
3. 上記2.の他に、本年度水球代表選手選考体力テスト基準（ユース）をクリアし所属監督が推薦した者を書類選考する。
4. 選考有資格者は1998年1月1日以降出生の男女とする（※主に2013年度中学3年生以下の学年＝2015年アジアAG選手権対象カテゴリー）。
5. 編成人数は男女各20名程度とする。 以上